

# 医療被ばくに関する説明書

## ●検査の正当化(必要性)について

放射線を用いた検査は、被ばくによる不利益よりも、検査によって得られる利益のほうが十分に大きいと判断される場合に実施します。

## ●放射線と発がんについて

一般的には 100 ミリシーベルト以下の放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられています。放射線は無害ではありませんが、実際には、大気汚染、ストレス、生活習慣（喫煙・大量飲酒・運動不足）など、日常生活の様々な影響の方が大きいと考えられています。

## ●検査における被ばく低減の取組みについて

当院では医療被ばく低減施設認定を受けており、放射線による被ばくを必要最小限にすることを実践しています。また、検査によって受けた被ばく線量を記録管理し、関連する職員に対して医療放射線に関する研修を行っています。

